

ひどい雨

雨はやたふと降る

東北 新おん 北陸の ようすの

ニエースは雨ばかり

村上市もニエースとして雨止むかびよる人びと未だ

知りありおいる

デーラをもしたが 国産の晴れよめりたふり

いそいでおきしを去しは

そんなこと ながまをらふの

急やふゆをしこいよてふた

夫と降水帯へあてふた

まいたまの 言葉がたたく

今ふと経験しはここの つかい はげしい

雨の降おつらく

車ごとと流すおん とはかく命をたふすこと

ホーと考えて アナウンサーのきり細く

こいぬ <sup>いぬ</sup> 声

定回 <sup>の</sup> ぶそれおん 時はおん 定 <sup>は</sup> 建物へ

去来 <sup>の</sup> 時はおん びん けおん へ

あま <sup>の</sup> けおん へ との アナウンサー びんがとう

に下とあけて外を見よ

水にまろいつもより大きくあつていよ

用 すがすしい用で尋いのた びにすろ解って

いよ

あ玉の南中部も注意のしらせ

ここはあ玉のどのあにりにあさあか

ひよつとしてここをあぶあひあかと

ハソトでゆらんりなととまそあ

分量の除氷気があがり用は明日までつづくと

ニエース そーと用がアムでも 氣をかける

あいびと

便雅台用り <sup>評</sup>あいびこへ行つてしすつああか

こやの月がさで用をにやしああかうのまき

遠くさろに

2022  
8/6